

# 知的財産事例

## 株式会社 Ancient Tree

### 1人1人が適切に病気を予防できる“次世代ヘルスケア”を目指して ゲーム×医療×AIの3要素で、業界のパイオニアに

#### 事業内容

2005年設立  
ヘルスケア市場向けクラウドサービス  
大学等研究機関向け研究支援サービス  
各種ホームページ開発

#### 知的財産権と内容

特許第6473988号	人工知能による検査値&測定値予測
特許第7337316号	治療に伴う検査データの予測とその予測による治療方法
商標第5877895号	HelpU

他 特許審査中2件、審査請求予定1件

(2024年11月現在)



中央:代表取締役 岡本 稔さん  
左:西野特許事務所 西野 卓嗣弁理士  
右:営業担当取締役 藤原 壮好さん

ACTIVITIES & ACQUISITION IS INTELLECTUAL DATA

#### ゲーム分野と医療分野 双方での経験を新たな技術開発に

当社の岡本代表は、ゲームクリエイターとして健康に役立つゲームの開発に従事していたところ、大手医療検査機器会社にヘッドハンティングされたことで医療分野に転職。そこでは慶應義塾大学の教授や研究チームとともに3年以上の月日をかけ「白血病の診断を支援する、高精度なAI解析技術」の開発を行っていた。当初はAIそのものが最先端であったことに加え、医療分野に活用するという発想自体も独創性に長けており、注目を集めた。そして2005年、ゲーム分野と医療分野、双方で培った知識や技術をもとに独立・起業。個人の体質に合わせ、3~5年先の健康状態を予測できる特許技術『HelpU（ヘルプユー）』を中心に、医療機関や研究機関向けのサービスを行っており、業界のパイオニア的な存在となっている。知財についても積極的に活用しており、前職からの縁で結ばれた藤原営業担当取締役と二人三脚で、信頼する弁理士とも連携しながら取り組んでいるそうだ。

#### 代表のセンスや技術と 前職からの縁が実を結んだ『HelpU®』

創業当初から「ベンチャーとして事業を行うからには、自社ならではの強みは間違いなく必要となる」考えていた岡本代表。そのため、当社を代表する製品（AI解析エンジン）である『HelpU®』のアイデアが浮かんだ

際には、前職である大手企業の知的財産本部長を務め、親交があった西野弁理士を頼った。その際、「ぜひ特許出願をすべきだ」とアドバイスを受けるとともに、開発前からきめ細やかな伴走支援を行ってもらえたという。『HelpU®』は、健康支援に必要な個人情報素早くまとめ、1人1人の体質や生活分析を行った上で将来的な身体の状態を予測できるシステムだ。大規模な医療機関はもちろん、小規模クリニックや健康保険組合などでもきめ細やかな個人面談・指導の補助材料として活用できることが強みである。これは病気の“予防”を重視して開発されたもので、まず周知である文献や論文の内容をAIに落とし込み、あらかじめ想定される人間の傾向をデータベース化したものを学習させ、より個人の特性に近づけるよう精度を上げていく、という流れで生み出された。現在では薬局や人間ドックなど、患者1人1人の症状に寄り添った対応が求められる機関を中心に、幅広くシェアが広がっている。

#### AIを利用したパーソナル解析の先駆けとして 大企業からのオファーも

AIブームが訪れる前に特許を取得できたことは、岡本代表の“先見の明”があったからこそだと思う、と西野弁理士は語る。特に医療分野において高い精度でパーソナルな解析を行える技術は非常に貴重なため、当社では『HelpU®』および顧客ニーズに合わせた派生サービスの提供とは別に、特許技術をライセンス化し

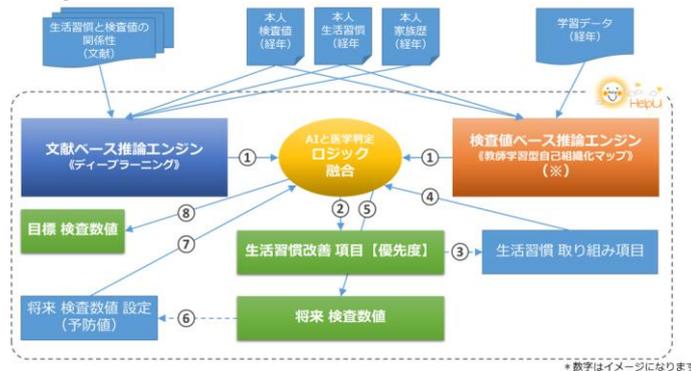
て対価を得るといった事業も展開している。近年では健康支援の受託サービスを担う某大企業からも関心を持たれ、同社が運営する健康情報管理アプリの解析部分を担当するなど、活躍の場が広がっているという。しかし「特許がなければ、大企業と対等な契約を結ぶことは難しかったかもしれない」と岡本代表は語った。営業活動を行う中で、知財が相手企業からの信頼に繋がっていると感じる経験も多い。今後も新たな技術を開発した際には、将来的なサービスの改良のしやすさもふまえ、より広い範囲で権利を取得していく方針だ。

### ニーズの獲得までには長い時間を要した



このようにライセンスビジネスも含めた多角的な活用を行っている当社だが、医療分野の潜在的な需要を先取りする形で技術を開発しているがゆえに、特許を取得した直後はなかなか売上に結び付かず、マーケティングに苦勞したという。しかし、サービス改良、導入にむけて、降旗謙一医師、許瑞美医師、高山哲郎医師ほか、各専門分野の先生方からの支援を受けながら、5~10年という年月をかけて市場ニーズを獲得することができたそうだ。また、そういった経験から、「販路を拡大するため、業

### HelpU検査値ベース推論エンジンの概要



「HelpU®」は周知の文献や論文をAIに学習させ、そこに個人の身体・生活習慣・家族歴などの情報を取り込むことで、個人に即した症状に関する情報を素早く自動作成できる

界で影響力や広い人脈をもつパートナーが必要」という課題も生まれている。これに関しては既存のネットワークも含め、同じ目線でビジネスを走り抜けてくれる相手を引き続き探っていく予定だそうだ。

### 知財取得を目指す経営者へのメッセージ



「自分も数年がかりで取り組み、今になってようやく“特許が活きてくるんだな”と分かってきた」と岡本代表は語る。「あの時、西野弁理士に相談していなければ、特許は取れていなかったかもしれない。早い段階で相談できて本当に良かったと思う」と。また、「人工知能については長年当たり前に触れて来たからこそ、その価値を自分では客観的に評価できていない部分もあった。事業を進める中での困りごとを解決する上で、思いがけず大きな発明が生まれることもある。その可能性を見逃さず、アイデアが生まれた段階で専門家に相談することが大切だ。」と続けた。

**将来予測** このままだと、あなたの将来は…？  
 既にメタボの状態、心筋梗塞や脳卒中にご注意  
※糖尿病やBMIが基準値内の隠れメタボを含みます

**検査 / 測定値の3年後の予測**

高血圧	血糖	AST
LDL	HbA1c	ALT
中性脂肪	eGFR	γ-GTP

**メタボを脱出し将来的にも予防するためには…？**  
 予防方法 体重：81.1kg 腹囲：80.7cm 血圧：111/71mmHg の状態を目標とし、維持するようにしましょう。

**予防のための効果的な生活習慣の改善方法**

<b>増やす</b> 生活の中で8000歩 そのうち20分は中強度の活動	<b>バランス</b> 乳製品をバランスよく摂る	<b>続ける</b> 一口20~30回 ゆっくりよく噛んで食べる
<b>減らす</b> 塩分以外の調味料で工夫して薄味付けに慣れる	<b>適量</b> 節度ある適度な飲酒をする	<b>増やす</b> 野菜や海藻、きのこの料理を食べる

作成されたデータは、将来リスク、改善目標値、改善優先、継続項目6項目等、その人に優先すべき改善点がまとめられており、健診者に基づく十人十色のことなる詳細な分析を行うことで、診察の効率化が可能

### 知的財産活用のポイント

#### 思い切った決断が様々な縁に繋がり アイデアに確かな価値を持たせた

「健康に役立つゲームが作りたい」との気持ちで一度目の起業を果たしたものの、自身の経験に限界を感じ前職からのスカウトを受け入れたという岡本代表。しかし、そこで西野弁理士や藤原営業担当取締役との出逢いに恵まれ、貴重なアイデアや技

術をライセンスに昇華させることができた。西野弁理士は「発想力に長けた人は独自性の高いアイデアでも“誰もが思いつくとに違いない”と勘違いしてしまいやすい」と言う。更なる成長を求め転職を決断した行動力が、その知識や発想を客観的に評価してくれる人物との縁に繋がり、ひいてはその価値を形として証明してくれる知的財産権の取得に繋がった。

### COMPANY DATA

取材：2024年11月

企業名：株式会社AncienTree 所在地：京都府京都市右京区秦小手角町1-11 電話番号：メールにて対応  
 URL：<https://antree.co.jp/> 創業：2005年 資本金：300万円 従業員：5名

